

みなかみ町

利根川源流のまち
みなかみ

MINAKAMI
TOWN



利根川源流のまち みなかみ



位置と地勢

群馬県の最北端に位置するみなかみ町は、北は新潟県の湯沢町、南魚沼市、魚沼市と県境の谷川連峰で接し、東は沼田市、片品村、川場村、西は吾妻郡高山村と中之条町とにそれぞれ接しています。また、首都東京と新潟市との中間約150kmの位置にあって、JR上越新幹線、JR上越線、関越自動車道、国道17号が走り、首都圏からのアクセスに恵まれています。

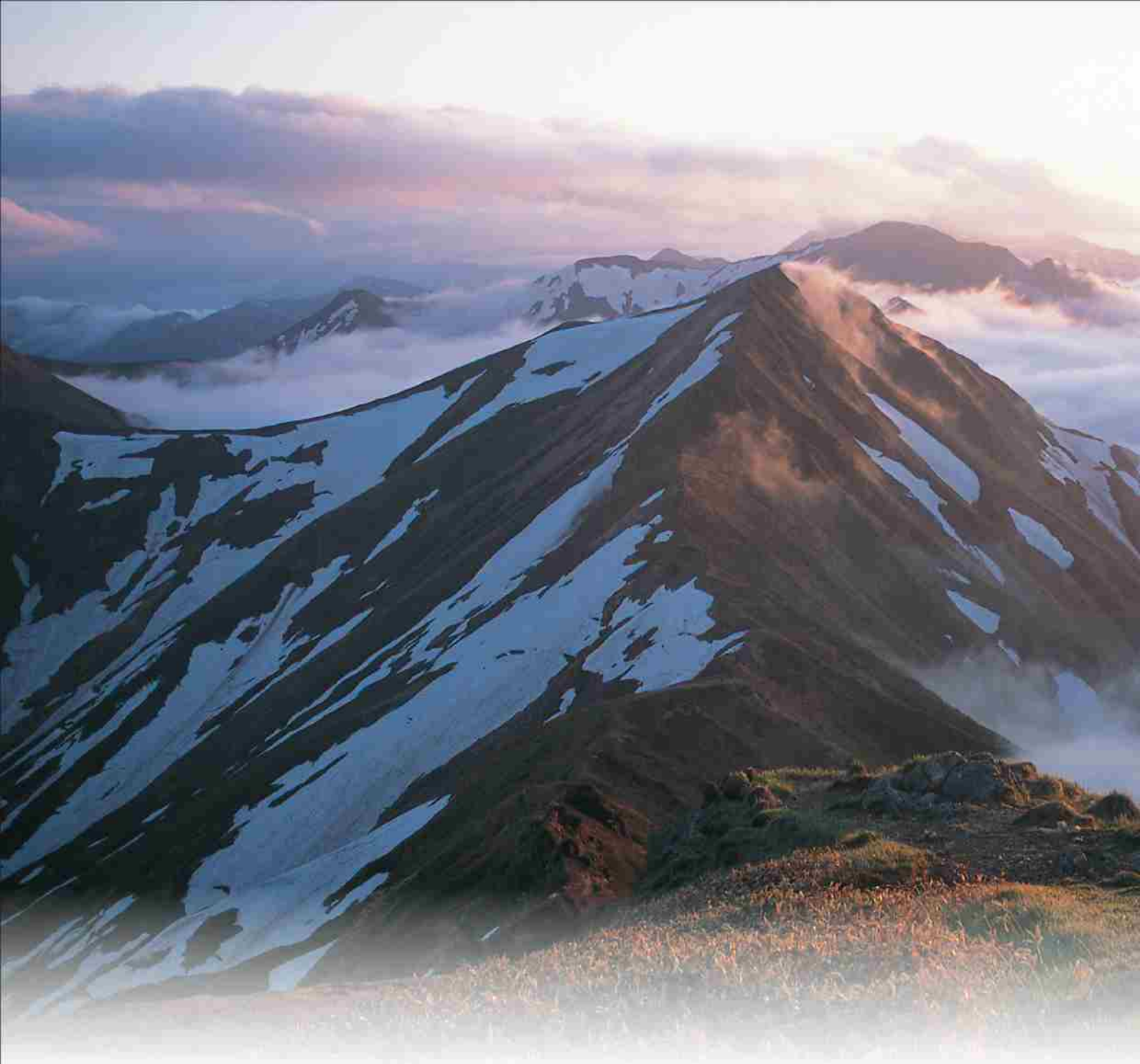
標高は300mから2,000m級の山岳にまでわたり、北にそびえ立つ谷川連峰の山々は、谷川岳をはじめとする多くの観光資源があります。山麓には水上温泉郷、猿ヶ京三国温泉郷、上牧温泉等多数の温泉地があります。さらに南部の中心市街地には上越新幹線の上毛高原駅や関越自動車道の月夜野IC、水上ICの2つのインターチェンジがあり、県北の玄関口としての役割を担っています。

本町の南部中央で合流する利根川と赤谷川の上流には7つのダムがあり、下流域の生命と経済活動を支える重要な役割を担うとともに、四季折々の美しい清流の景観を見せてくれます。



INDEX

◎みなかみユネスコエコパーク	4
◎SDGs 未来都市	8
◎町の取り組み	10
◆第2次 みなかみ町総合計画	
◆産業	
◆子育て	
◆学校教育	
◆生活環境	
◆健康・福祉	
◆協働のまちづくり	
◆社会基盤	
◆生涯学習	
◆地域間交流	
◆議会	
◎3つの宣言	23
◎みなかみこよみ	24
春こよみ	
夏こよみ	
秋こよみ	
冬こよみ	
◎みなかみ珠宝	28
◎水と森と文化の記憶	30
◎マップ	32
◎町の歩み・由来	33
◎みなかみ町長「発刊にあたり」	33



みなかみ ユネスコエコパーク

Minakami UNESCO Ecopark

わたしたちは、地域の最大の宝であり資源である自然や景観、水をはじめとするたくさんの森林の恵みを、未来を担う子どもたちにつないでいかななくてはなりません。

大切に守られてきた自然環境に感謝しながら、自然と人間が共生する持続可能なまちづくりを行うため、水と森林を育み、それを「まもる・いかす・ひろめる」力を携えた「人」を育む、みなかみユネスコエコパークを目指します。



みなかみユネスコエコパーク

Minakami UNESCO Ecopark

特色

群馬県と新潟県の境界の山稜一帯は、太平洋側と日本海側の大気がぶつかり合う日本の脊梁山脈、すなわち中央分水嶺となっており、世界でも有数の豪雪地帯となっています。山岳地域では、冬の大量の積雪の影響などにより、急峻な岩壁や露岩地に加え、雪食凹地、氾濫原、河床段丘など特徴的な地形や、周水河地形などの豪雪地特有の地形を形成しています。また、標高2,000mに満たない地域にもかかわらず氷河の痕跡も確認されています。

これらの特殊な地形・地質や、日本海側と太平洋側の気候条件の移行帯であることなどに起因し、多様で希少な動植物が育まれ、独特の生態系が見られるなどの特徴があります。

目的と登録状況

利根川の最初の一滴を生み出す群馬県みなかみ町。東京都心から1時間ちょっとで訪れることができる距離にもかかわらずここには日本を代表する貴重な自然が数多く残されています。みなかみ町は、地域の大切な資源であり宝である豊かな自然と上手につきあいながらまちづくりを展開してきました。これまでの取組を継続、発展させ、人と自然が支え合い、ずっと続いていく地域となるために、2017年6月14日ユネスコエコパークへ登録となりました。

群馬県の最北端に位置するみなかみ町を中心として、隣接する新潟県魚沼市、南魚沼市、湯沢町の一部から構成されています。総面積は91,368ha、その90%以上が森林となっており、標高約300～2,000mの間に位置しています。

このエリアは、日本を代表する大川である、流路延長322km（日本第2位）、流域面積16,840km²（日本第1位）の利根川最上流域に位置しており、日本の首都・東京を中心とした、人口・経済において世界最大規模である東京都市圏の約8割、3,000万人の生命と暮らしを支える水の最初の一滴を生み出しています。

言い表せない自然を映像化

みなかみユネスコエコパーク（MINAKAMI Biosphere Reserve）は人が暮らす広大な面積の自然を総称しています。

多くの方が暮らし生活する地域、この地が有する自然を活かしたアウトドアや温泉などの経済圏、手つかずの自然が残る核心地域が存在します。しかし、核心地域の生命の根源となる水が湧く大水上山などは容易に見に行けるようなところではありません。

様々な自然環境を多様な視点から理解を深められるように後世に残したい風景を映像化して公開しています。



利根川の最初の1滴を生み出す

「大水上山」

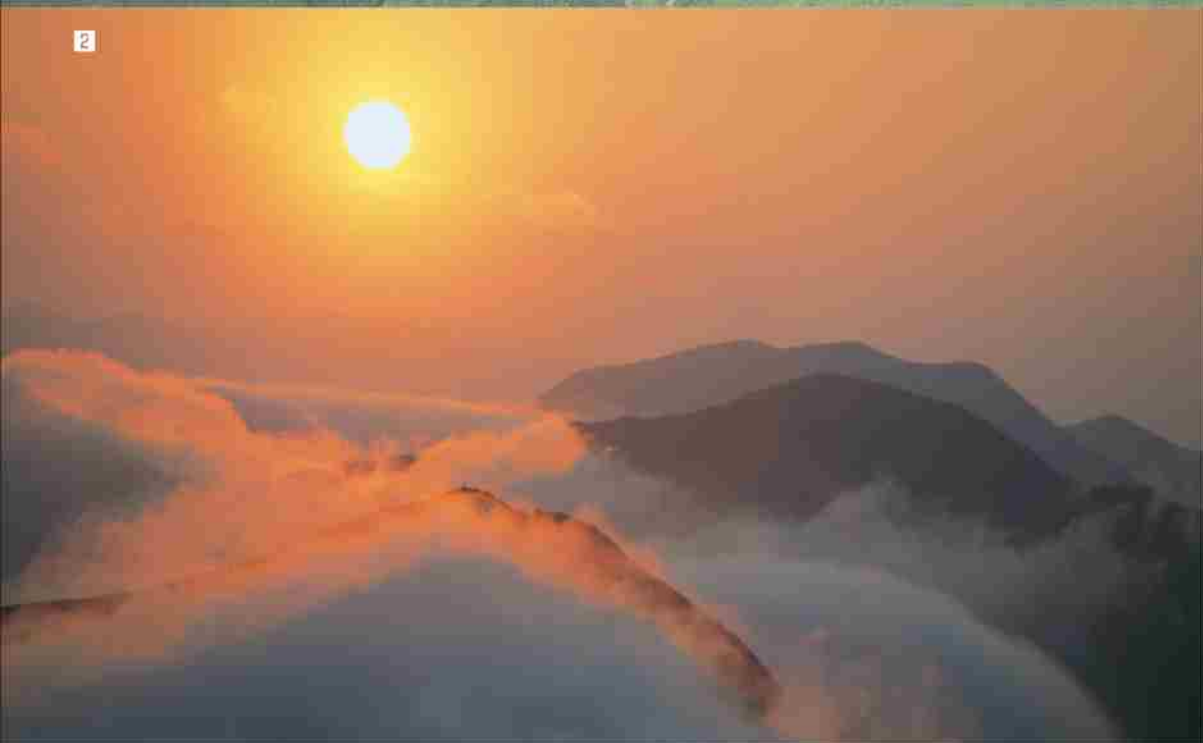


1



□ 大水上山
山頂から約500メートル南には利根川水源碑が建ち、利根川の源頭の山とされる。1954年(昭和29年)の調査によって、水源は大水上山の三角形の雪渓であることがつきとめられた。

☒ 谷川岳より望む
季節、時間、天気ごとに表情を変える自然は、見る人にその時々之感動を与えてくれます。



2

人知を超えた 「聖域」

みなかみ町は、谷川岳に象徴される上信越高原国立公園をはじめ、源流の豊かなせせらぎが作る美しい渓谷や滝、貴重な動植物が数多く存在しています。町を代表する渓谷として、照葉峡、諏訪峡、黒岩渓谷などがあり、溪流には大小様々な滝が点在しそれぞれの趣があります。

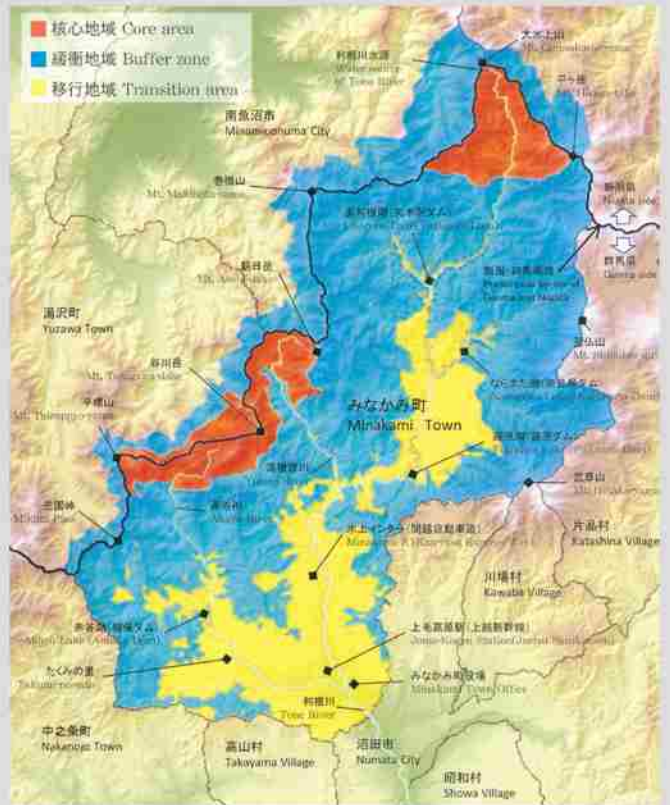
標高約 1,000m、大峰山の中腹には大峰沼があり、沼にはミズゴケやモウセンゴケ、ミツガシワなどの湿原植物が生える浮島があります。また、大峰山古沼には木の枝に泡状の卵を産み付けるモリアオガエルが棲息しています。これら浮島及び湿原植物、モリアオガエル繁殖地は、共に県の天然記念物に指定されており、大峰山は貴重な動植物の宝庫となっています。

6

これまでも各種団体が中心に山岳登山道の整備、ホテルの保護、植生保護、イヌワシの研究など様々な環境整備や自然保護の啓発活動などが行われています。また、環境教育の面では小学校の児童が谷川岳登山、一ノ倉沢ハイキング、ラフティング体験、蛍の餌となるカワニナの飼育をし、放流するなどの取り組みも行われています。

町では、谷川岳エコツーリズム推進協議会や赤谷プロジェクト、奥利根水源憲章推進委員会など、各種の協定等により、地域住民や下流域の市民、研究者、NGO 等多様な主体が関わりながら環境教育・調査研究・エコツーリズムを支援、推進しています。

みなかみユネスコエコパークのエリア概要図 Map of Minakami UNESCO Ecopark



自然が教えるフィールド

③ 環境学習

自然に対する本当の理解や配慮は、自然を感じ、自然や人間に関する知識を養い、自然が命を生み出すことを感じ理解することから始まります。人間の生き方を問い直すことにもつながる教育です。



4

④ 大峰山古沼 ⑤ モリアオガエル

大峰山の古沼には、モリアオガエルが生息している。モリアオガエルは木の枝に産卵する珍しいカエルで、6月から7月にかけて沼の水面上に張り出した木の枝に泡状の卵を産み付けるのが特徴。白い泡の中で卵からオタマジャクシにかえり水面に落ちていく。この繁殖地は県の天然記念物に指定されている。



5



6

⑥ ホタル

利根川の本流を中心に、町域を流れる中小数々の清流は、ホタルをはじめあらゆる動植物の生態系を育んできた。環境に極めて敏感なホタルは、社会の変化とともに減少してきたが、保護・育成活動に取り組んでいる結果、季節の風物詩として、ホタルの神秘的な乱舞が見られる程に回復している。町内では4種類のホタルが見られ、特にゲンジボタルとヘイケボタルが多く見ることができる。

エコパーク 土地利用区分

Three land use categories

■ 核心地域 ■ Core area ■■■■■■■■

手付かすの原生的な自然環境が、利根川の最初の一滴を生み出すエリア

利根川源流部・燧ヶ岳周辺森林生態系保護地域（保存地区）、上信越高原国立高原（特別保護地区及び第1種特別地域）の2箇所を核心地域に設定しています。2つのエリアはともに群馬県最北部である新潟県との県境に位置し、中央分水嶺を形成する山岳地域であり、利根川の最初の一滴が生まれる最上流域です。標高約 2,000mの山々が連なり、冬季の強い季節風と多量の雪に起因する独特の生態系が原生的な状態で維持されています。

■ 緩衝地域 ■ Buffer zone ■■■■■■■■

水源涵養機能をはじめ森林の多様な機能を高めるための保全管理を行い、環境教育・調査研究・エコツーリズム等が行われるエリア

核心地域を厳重に保護するため、核心地域を取り囲むように設定しています。このエリアの大部分が国有林であり、水源涵養機能をはじめとする森林の多面的な機能を高めるための保全管理が行われています。また、谷川岳エコツーリズム推進協議会や赤谷プロジェクト、奥利根水源圏推進委員会など、各種の協定等により、地域住民や下流域の市民、研究者、NGO 等、多様な主体が関わりながら環境教育・調査研究・エコツーリズムなどが進められ、保護と適正な利用が行われているエリアです。

■ 移行地域 ■ Transition area ■■■■■■■■

自然の恵みを受けながら、環境教育や調査研究、エコツーリズムなどを行う中で、豊かな自然と文化の両方を活かすためのエリア

みなかみ町内の国有林以外の地域を設定しています。このエリアは、生活の中で守られてきた農村景観、里地・里山がひろがり、豊かな自然の恵みに支えられた伝統文化や農村文化が今なお息づいています。また、温泉、アウトドアスポーツなどの自然の恵みを活かした観光産業が盛んで、様々な条例などにより自然観光資源の適正な保全と活用が進められています。豊かな自然や農村文化、伝統文化を継承し、体験などを通じた環境教育を実践しながら人材育成を図り、持続可能な地域づくりを目指していくエリアです。

人々が安心して暮らせる 持続可能なまちづくり



国連 SDGs ロゴ

令和元年、みなかみ町は SDGs 未来都市に選定されました。

ユネスコエコパークに認定された町には、先人の培ってきた自然と共に生きる暮らしが残されています。

美しい自然と里地里山を核として、観光・農林業・教育・健康・福祉・環境など様々な分野をそれぞれ横断的かつ有機的に連携し、里地里山の価値そのものを高めながら次の世代に繋ぐことで、持続可能なまちづくりにつながるものになると考えています。





□ 自伐型林業研修

多くの人が森林や林業に興味を持ち、森林資源の有効活用に取り組むために、チェーンソーの取り扱いや、伐倒・造材・搬出、作業道開設などの技術を学ぶ。



図 導入された新ボイラー 図 薪ストーブ
新ボイラー・薪ストーブの補助事業を通して、既存の化石燃料から木質バイオマス燃料へのエネルギー転換を行い、燃料コストと二酸化炭素排出量の削減を実現するとともに、派生する雇用の創出と資金の地域内循環による地域振興を目指しています。



図「木育」を推進
自伐グループによる環境教育や町内産材による木育を通じての様々な体験は、単に木についての理解を深めるだけでなく、鋭い感性や自然への親しみ、森林や環境問題に対する確かな理解の基礎を育み、環境を保全する人材の育成に繋がっていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



「SDGs(Sustainable Development Goals)」とは

SDGsは、2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能で多様性と普遍性のある社会を実現するための17のゴールと169のターゲット、これらの目標達成に向けた進捗状況を測るインディケータで構成されています。地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)社会の実現を目指し、全世界共通の目標として、経済・社会・環境の諸課題を統合的に解決することの重要性が示されています。先進国、発展途上国を問わず、さまざまな国・地域ですでに取り組みが始まっています。

自治体がSDGsに取り組む意義

地方創生は、少子高齢化に歯止めをかけ、将来にわたって成長力を確保することを目指しており、人々が安心して暮らせるような、持続可能なまちづくりと地域活性化が重要となります。

自治体においてSDGsを活用することで、客観的な自己分析による特に注力すべき政策課題の明確化や、経済・社会・環境の三側面の相互関連性の把握による政策推進の全体最適化が実現します。

また、自治体と各ステークホルダー(利害関係者)間において、SDGsという共通言語を持つことにより、政策目標の共有と連携促進、パートナーシップの深化が実現します。

SDGsの達成に向けた取り組みを通じ、地域課題解決に向けた自律的好循環を生み出すことができ、地方創生の課題解決を一層促進することが可能となります。

水と森林と人を育む 利根川源流のまち みなかみ

町民の皆さんと町の将来像を共有し、計画的にまちづくりを進めていくうえで、基本的な指針となる総合計画の存在意義はますます大きくなっているといえます。町では第2次みなかみ町総合計画に基づく基本理念を核に、人と自然がお互いに育み合う、誰もが住みやすいまちづくりを目指して町政運営をしています。

まちづくりの基本理念

- 1－ 豊かな自然環境や文化を未来につなぎ、人と自然が共生するまちづくり
- 2－ 国内外から多くの人を訪れる、世界中から愛されるまちづくり
- 3－ 郷土愛に満ちあふれた「人」を育むまちづくり

本計画は基本構想、基本計画で構成されています。

基本構想は平成30年度からの10年間を計画期間として、時代の潮流や本町の特性を踏まえ、目指すまちづくりの基本理念や目指すべき将来の方向性を明確に示し、皆で実現するための構想です。

基本計画は平成30年からの5年間を前期基本計画、見直した次の5年間を後期基本計画として、基本構想で定められた基本目標に基づき、具体的な施策展開を体系化します。

町では、第2次総合計画を策定する視点として ①人口減少、少子化、高齢化時代への本格的な対策 ②ユネスコエコパーク登録を契機に、自然を“守り・活かし・広める”取組の強化 ③観光戦略の推進によりまちの魅力を発見・創造し、交流人口の拡大 ④高齢化社会に対応した健康・医療・福祉の充実などを共有しました。

まちづくりの基本方針

基本目標

誰もが安心して安全で
ゆとりを感じるまち

- 施策 1 地域福祉の推進
- 施策 2 高齢者福祉の充実
- 施策 3 子育て支援の充実
- 施策 4 障害者福祉の充実
- 施策 5 健康づくりの推進
- 施策 6 医療の充実
- 施策 7 消防防災対策の強化
- 施策 8 生活安全対策の推進
- 施策 9 道路の安全性と利便性の確保
- 施策 10 公共交通の維持・確保
- 施策 11 水道の整備
- 施策 12 循環型社会づくりの推進

基本目標

豊かな自然と共生するまち

- 施策 13 人と自然の共生の推進
- 施策 14 生活環境の保全
- 施策 15 まちなみの整備
- 施策 16 獣害対策の推進

基本目標

活力にあふれるまち

- 施策 17 観光の振興
- 施策 18 農業の振興
- 施策 19 商工業の振興

基本目標

豊かな心と文化を育むまち

- 施策 20 学校教育の充実
- 施策 21 生涯学習の推進
- 施策 22 生涯スポーツの推進
- 施策 23 文化財の保存と活用

基本目標

地域をささえるひとづくり

- 施策 24 平和と人権の尊重
- 施策 25 交流連携の推進
- 施策 26 移住定住の促進
- 施策 27 町民による地域づくりの推進

基本目標

効率的で効果的な行政運営

- 施策 28 効率的で効果的な行財政運営の推進
- 施策 29 事業効果の向上の推進
- 施策 30 効率的な組織運営の推進



農林業

Agriculture and Forestry

現在の主な産物は、稲作のほか果樹や施設園芸等が盛んであり、市場や観光農業において産地化へのさらなる確立が求められます。また、農地の生産基盤整備が進められ、今後も未整備地域への事業推進を進めるとともに担い手の育成を促進します。

地域特性を活かし、地産地消を推進することで消費者と直結した新鮮で質の高い生産をめざし、小規模な農家でも自立できる農業振興を進めています。

Today, Minakami's main produce are rice, fruits, greenhouse horticulture, and green tourism. Further efforts to become premier production areas in these fields are required. Agricultural infrastructure improvement has been underway, and we will continue to develop new businesses in areas yet to be explored. We foster young people who pass Minakami's agriculture on to the next generation. In an effort to sustain business, despite being small scale, Minakami farmers take advantage of regional characteristics and promote farm-to-table so that their fresh, high-quality produce will directly reach consumers.

たくみの里

350ヘクタールの農村地帯に農村の食文化や伝統手工芸が体験できるたくみの家が点在しているのがたくみの里です。旧三國街道の須川宿を中心に野仏巡りをしながら農村を散策でき、道の駅たくみの里(豊楽館)には周辺で採れた新鮮野菜の直売や飲むヨーグルトなどを販売しています。



フルーツ収穫体験

ほぼ1年を通してフルーツ狩りが体験できる「みなかみフルーツランドモギトーレ」をはじめ、季節ごとに異なるフルーツ狩りも盛んです。

農業体験プログラム



農産物直売所



自然の恩恵を生かした

産業

Industry

Agriculture and Forestry
Commerce and Industry
Tourism



商工業

Commerce and Industry

本町の商業は、中心市街地の空洞化が進んでいる状況ですが、温泉街や住宅地が多く所在するまちなかにもっと元気を取り戻そうと、商業単独による活性化ではなく、地域特性を活かした交流や観光業との連携による商業振興策の展開や、魅力ある商業エリアの街並み整備を進めています。

工業においては、関越自動車道や上越新幹線など高速交通網が整備されており、企業の進出条件に合わせた土地利用の調整を図りながら工業用地の整備を行い企業誘致に努めています。

Downtown Minakami is becoming hollowed out, but it is where a number of spa resorts and residential areas are located. To revitalize, we utilize our local characteristics to facilitate exchange, deploy retail business promotion measures through collaboration with the tourism industry, improve downtown commercial district to be more attractive, rather than doing it by the commercial sector alone. High-speed transportation networks such as Kan'etsu Expressway and Joetsu Shinkansen bullet train services are appealing features to attract industries to Minakami. We develop industrial sites by meeting the requirements of each of the targeted businesses in terms of how they want to use their land.

アウトドアスポーツ

Outdoor activity



登山&ハイキング&スノーシュー Climbing & Hiking & Snowshoe

春夏秋冬は谷川岳、武尊山、平礫山、三国山など、難易度も距離も様々なコースにおいて登山とハイキングを楽しめます。冬にはスノーシューを履いて、森の中や雪原をトレッキングします。ツアーでは、ベテランガイドが同行し、無理なく安全に雪上散歩や雪遊びが楽しめます。



バンジージャンプ Bungee jumping

諏訪最大橋から42m下の利根川へ向かって飛びバンジージャンプはスリル満点です。専門のスタッフによる安全性を重視した環境の中で行えます。

キャニオニング Canyoning

キャニオニングは、滝や沢を滑り台のように滑り降りたり、滝壺めがけて飛び込んだりしながら溪流を下っていくリバースポーツです。アドベンチャー気分を満喫できます。

レイクカヌー&カヤック Lake canoeing & Kayaking

開業の水郷「奥利根湖」「ならまた湖」で、探検気分を気軽に楽しめるカヌー&カヤック。湖を隅から隅まで知り尽くしたガイドが完全サポートします。小さな子どもでも安心して挑戦できます。



観光業

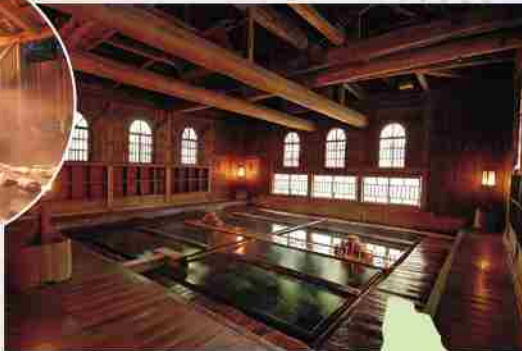
Tourism

みなかみ18湯

- 月夜野温泉
真沢温泉
上牧温泉
奈文沢温泉

- 谷川温泉
水上温泉
湯ノ小屋温泉
上の原温泉
湯検管温泉
宝川温泉
うのせ温泉
向山温泉

- 法師温泉
川古温泉
高原千葉村温泉
猿ヶ京温泉
湯宿温泉
赤岩温泉



みなかみ町は、谷川岳の一ノ倉沢やマチガ沢に代表されるような国内第一級の山岳地や森林、各地に湧き出る豊富な温泉などの自然環境に恵まれ、町内に多くの観光資源が点在しています。利根川やダム湖を活用したラフティングやレイクカヌーなどのアクティビティの他、8つのスキー場を有し、アウトドアスポーツの聖地として知られています。

また、みなかみ18湯と総称される水上温泉・猿ヶ京温泉・上牧温泉などの温泉地ではレトロな雰囲気温泉や大露天風呂、秘湯の宿まで趣が異なる温泉を堪能できます。さらに、たくみの里をはじめ数多くの体験型観光施設では四季折々のイベントや伝統行事が行われ、一年を通して観光ができることも魅力です。

Minakami Town is blessed with a natural environment that includes some of Japan's top class mountain regions and forests, such as Ichinokura-sawa and Machiga-sawa on the slopes of Mount Tanigawa, and an abundance of hot springs that bubble up throughout the region. The town itself also has many tourist attractions. Along with rafting and lake canoeing activities on the Tone River and dam reservoirs, the region has eight ski resorts, and is a renowned paradise for outdoor sports enthusiasts. Furthermore, the hot springs region in which Minakami Hot Springs, Sarugakyo Hot Springs and Kamimoku Hot Springs are located, known collectively as the "Eighteen Hot Springs of Minakami", offers a variety of hot spring experiences ranging from inns with an old-world atmosphere, vast open-air hot spring baths, and little known hot springs in hidden spots. Furthermore, the many experience-oriented tourism facilities, such as Takumi-no-Sato, which host many seasonal and traditional events, augment the appeal of the region by offering year-round tourism experiences.



子育て

Childrearing

核家族化などにより、社会全体で支える力が弱まっている中、「子育てするなら、みなかみ町」を合言葉に、町民と行政及び専門機関が連携しながら、地域の子育てを支援しています。

子育て支援の柱として認定こども園に子どもを安心して預けられる環境を整えています。また、保護者のニーズに応じて延長保育や一時保育、ファミリー・サポート・センターなどの保育サービスの充実を図り、子育て世代の仕事と家庭の両立を支援しています。

平成29年4月から子育て世代包括支援センター「すくすく」を設置し、妊娠から出産・子育てまで切れ目のない支援や育児不安に対する迅速な対応を行い、子どもを安心して産み育てられるよう支援強化をしています。

While support from society needed for parents to raise their children is dwindling due to a growing number of nuclear families and other reasons, Minakami is addressing this issue. "If you are parents of young children, come to Minakami!" is our tagline. People of Minakami, the town hall, and professional institutions work closely to support parents.

The pillar of this support is to put in place an environment that gives parents access to the services of licensed childcare facilities. These facilities are flexible to parents' requests and provide extended-hour services, temporary service, etc. so that parents can balance their work and childrearing.

In April 2017, we opened a comprehensive child-rearing support center called "Suku Suku" to promptly respond to the needs of parents from the time a child is conceived to childbirth and continued onto childrearing.



子どもの健康増進



◆乳幼児健診

3歳以下の乳幼児とその保護者を対象に対保健師が発育状況の確認や育児不安の相談を行うなどしています。

子どもの発達支援



◆のびのびサークル事業

発育発達気になる乳幼児に対し、専門職による遊びを中心とした集団活動を毎月2回程度行っています。

子育ての精神的、 経済的負担の軽減



◆子育て支援センター

子育て支援の拠点として、子どもを遊ばせながら子育てについての悩み解決や情報交換ができます。

こども園



◆3カ所の認定こども園

町立にはいるこども園、私立つきよのこども園、私立水さわのこども園の3園があります。

学校教育

School Education



質の高い、きめ細かな教育を実践するため、少子化の動向を踏まえ、適正規模を考慮した学校の再配置を進めるとともに、補助教員や支援員・介助員を拡充し、指導主事や外国語指導助手を配置するなど、地域に根差した特色ある教育を推進します。

豊かな心と高い知性、健康な身体をもとに活力ある人間に育つよう、「地域の子どもは地域で育てる」という意識をもち、地域資源を活かした学習活動・環境学習や職場体験などを積極的に行い、子どもたちが安心して活動できる地域づくりを進めています。

安心安全な教育環境を確保するため、「地域ぐるみで子どもたちを見守る」体制を強化するとともに、学校と家庭・地域との連携を図りながら、児童生徒の安全対策の充実に努めています。また、学校施設・設備の計画的な改修や改築に努め、学校施設の保守点検の充実に努めています。

学校教育の充実



◆学校教育の充実

町の裁量により定数以上の教員を配置することで、児童生徒ひとりひとりにきめ細かな対応ができています。

教育内容の充実



◆キャリア教育の充実

キャリア教育推進モデル地区として、義務教育9年間を通じた実践研究成果を基に様々な取り組みを進めています。

環境教育推進



◆環境教育の推進

自然資源を守り、活かし、広める活動を理解してもらい、次世代へつなげる役割を担う人を育てています。

中学生海外派遣交流



◆中学生海外派遣交流の実施

風土の違いを肌で感じながら交流することで、広い世界観や好奇心を育むなどの健全な育成を図っています。

As well as the re-arrangement of schools, with factors such as suitable scale taken into consideration in view of the low birthrate trend, in an effort to implement high quality and meticulous educational activities, we are promoting education with characteristics rooted in the region through the expansion of assistant teaching staff and support staff/care staff, and the placement of Supervisors of School Education and Assistant Language Teachers, etc.

We are aware that we want our children to be a human being who has richness in mind, high intelligence, healthy body, and is very active in everything they do. "We bring up our children in our own community" is our motto. Specifically, we offer learning experience, environmental study, internship, etc. to create a region where children can be active without worrying about anything.

In order for our children to have secure and safe educational environment, we have a system called "Watch our neighborhood children". The system makes sure the safety of school children by closely linking schools and homes/communities. Systematic renovation and refurbishing of school equipment and facilities as well as regular maintenance work are in place.

生活環境

Living Environment

「利根川源流のまち」にふさわしい、美しくうおいのあるみなかみ町の地域特性を活かした景観形成を推進する中で、自然と調和がとれた農村空間と、賑わいと落ち着きのある都市空間の形成をめざします。

自然の恵みである良質な水の安定供給を行うとともに、ごみの3R(減量化、再利用、再生利用)や生活排水の浄化を進め、清らかな利根川源流と快適な居住環境を確保します。

住民が自然と触れ合いながらも、安全で快適な道路空間の整備を行い、誰もが利用できる情報通信ネットワークを確立し、「住みたくなる住環境」づくりをめざしています。

To live up to the name "The headstream town of Tone River", Minakami is actively promoting creation of a beautiful, pleasant landscape. We use regional characteristics to realize landscape where farms are in perfect harmony with nature and urban space is full of busts yet calm at the same time. We not only supply top-drawer quality water Minakami is blessed with without disruption but also spearhead the 3R (reduction, reuse, recycling) of garbage and purify domestic wastewater to ensure clean Tone River headstream and comfortable living environment.

While residents interact with nature, we build safe and comfortable road, establish an information telecommunication network available to all citizens, and create "an environment in which everyone wants to live."

水道施設



◆水道施設

給水区域内に居住し、水道により給水を受けている水道普及率は96.7%(平成30年度)

環境保全



◆ごみ焼却施設、ごみの減量化、再資源化

奥利根アメニティパークでは年間5,540t(平成29年度)が処理されています。

下水道処理施設



◆農業集落排水施設

利根川源流のまちとして、生活排水等による河川の水質汚濁を防止するため、合併浄化槽の設置や下水道普及率の向上に努めています。

防犯対策の推進



◆防犯対策の推進

防犯カメラの設置や防犯灯の増設・LED化を進め、安心して暮らせる防犯対策に取り組んでいます。

健康福祉



生活習慣病予防のため、健康教育や健康相談の充実を図り、町民自ら心と体の健康づくりに取り組めるようにしています。生涯健康的な生活を送るため、食に関する知識と食を選択する力をつけ、健全な食生活が実践できるようにライフステージに応じた食育を推進しています。

また、健康診査や各種がん検診などの受診向上に努め、病気の早期発見・治療を促し、重症化させない取り組みを行っています。

高齢者には、健康寿命の延伸を図り、住み慣れた地域でいつまでも元気で暮らせるように、安心して安全な生活環境づくりを目指しています。また、障害のある人が住み慣れた地域で生活できるよう障害福祉サービスの充実と保障制度や就業の相談などにも努め、生活の向上を促進します。

また、日常的な診療や健康管理等を行ってくれる身近な「かかりつけ医」を持つよう啓発するとともに、2次医療圏における安定した医療の確保に努めています。

In an approach to prevent lifestyle-related diseases, we are working to develop health education and health consultation by enabling the townspeople to engage in health promotion, both mental and physical, under their own volition. In order to empower citizens to lead lifelong healthy lives, we are promoting food education according to life stages, imparting knowledge about food and the ability to select foods, so that healthy dietary lifestyles can be put into practice.

In addition, efforts are being made to increase medical examinations, such as general health checks and various cancer screenings, in an approach to prevent the progression of diseases through early detection/treatment.

We are working to create safe and secure living environments, with the aim of extending healthy life expectancy and enabling our elderly residents to live healthily for as long as possible in the areas in which they are accustomed. We are also expanding our welfare services for persons with disabilities and working to provide consultation services related to social security systems and employment, etc. to promote improvements in living standards for residents with disabilities and enable them to continue living in the areas in which they are accustomed.

Furthermore, we are raising public awareness in relation to the need to choose a local "family physician", who will undertake routine medical examinations and health management, etc. and working to secure consistent medical care at secondary medical districts.



地域福祉の推進



◆社会福祉協議会との連携

障害者が社会、経済、文化等の活動に参加する意欲を高めることを目的にふれあい交流会を実施しています。

障害者福祉の充実



◆障害者の就労支援

障害福祉サービス事業所等で作業訓練を行うなど就労支援すると共にノーマライゼーション社会の実現をめざしています。

健康の維持増進



◆健康な心と体の維持増進

各種健康教室や食生活改善教室を定期的に開催し、皆さんが健康習慣を身につけて高齢になっても元気で生活できるように指導しています。

地域医療の充実



◆救急車やドクターヘリの緊急出動

本町の緊急出動件数は 1,254 件（令和元年）と高齢者の増加やアウトドア観光者が引き上げています。

協働の まちづくり

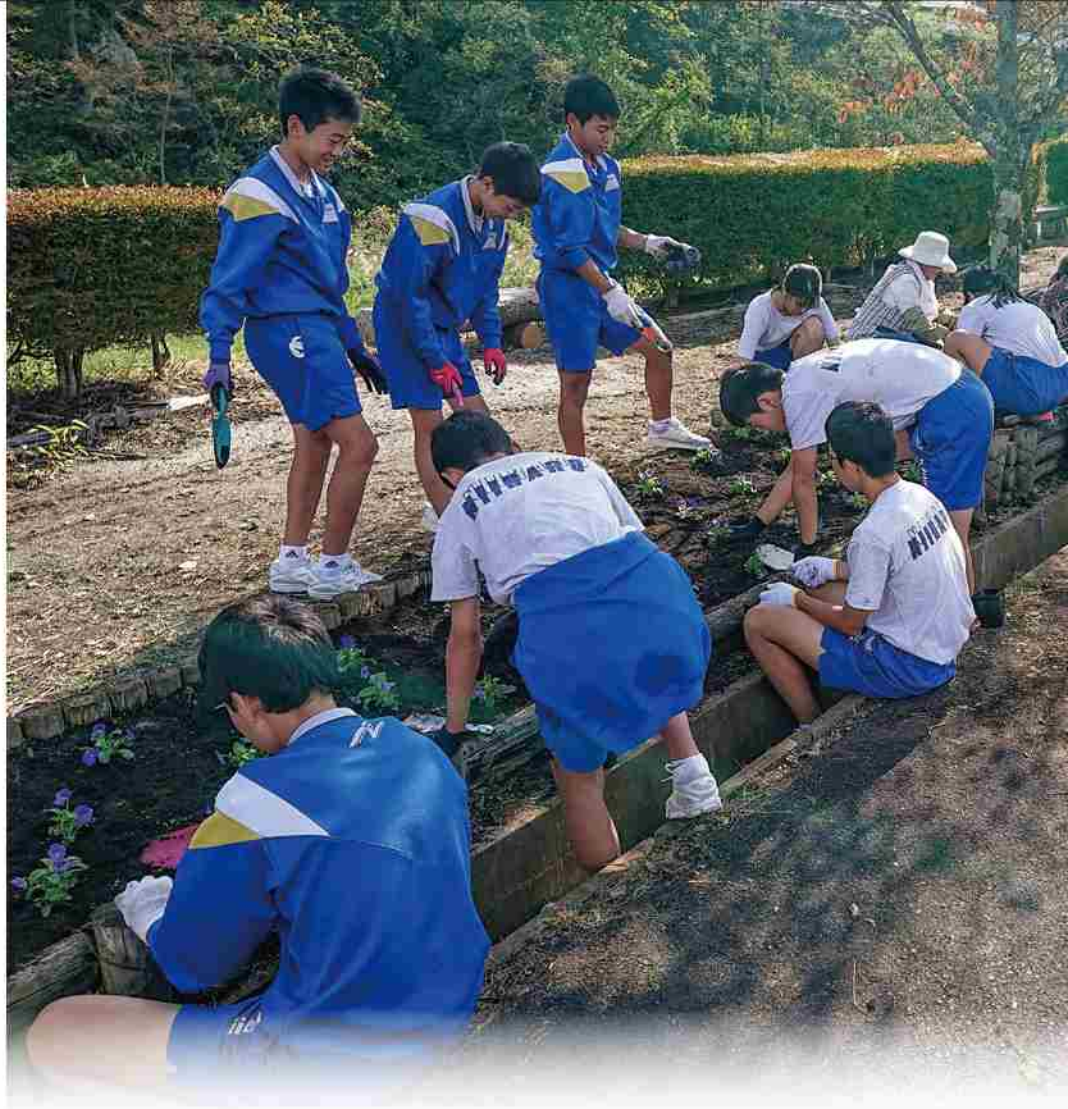
Collaborative
Town Planning

多くの町民にまちづくりに対する興味を持っていただくため、この指とまれ方式のまちづくり活動を推進するなど、まちづくり意識の啓発に取り組みます。また、町民が手軽に行政情報を入手できるよう、わかりやすい広報紙やホームページを作成するなど、行政情報の提供に努めています。

「水・森林（もり）の防人」として町内外の人と連携し、多目的機能をもつ森林の保全や整備、交流空間づくりとしての活用を進め林業の振興を図ります。景観資源の魅力を認識してもらうことで景観形成意識の高揚を図るとともに、周辺環境と調和した魅力的なまちなみを創出するため、自主的な景観形成活動を支援しています。

多様な住民サービスや複雑化する事業の実行、総合計画等の各種計画の実現をするために、行政評価等を活用して限られた行政資源を効果的・効率的に運用していくことをめざします。また、公の施設について町民の理解と協力を得ながら、そのあり方について検証および見直しを行い、公共施設の有効活用を図っていきます。

We promote autonomous town planning projects to raise awareness among the citizens of Minakami. One example is an easy-to-read town newsletters and website to disseminate administrative information to the citizens. As the guardian of Minakami's water and forest, we closely work with people both inside and outside of Minakami to promote timber industry. We preserve and maintain multipurpose forests and develop interchange activities in the process. When people recognize how attractive Minakami's landscape resources are, they will want to make them even more beautiful. Not only that, our focus on creating attractive town must be in harmony with the surrounding environment, and that is why we support creating landscape on a voluntary basis. Managing our limited administrative resources effectively and efficiently is our goal. To this end, we constantly evaluate our administrative processes to make sure we offer good civil service and implement ever-more complicated projects and other business plans. As for public facilities in Minakami, we validate them for effectiveness and review them for optimal use as we obtain understanding and cooperation of Minakami citizens in the process.



まちづくりに対する意識の高揚



◆ハザードマップ

地域の実情に沿った防災図上訓練により、その地域にあった防災ハザードマップ等の作成を行っています。作成には地区住民が主体的に取り組みました。

自然環境の保全



◆利根川源流森林整備隊の活動

水・森林（もり）の防人としての役割を果たし、森林の荒廃を防ぐための様々な活動を行っています。

まちなみ形成活動の推進



◆まちなみ形成活動の推進

地域毎のきめ細やかなまちなみは、地域の住民と一緒に考え、景観計画に反映するように進めています。

効率的で効果的な 行財政運営の推進



◆みなかみ町役場

面積約791㎢のみなかみ町は月夜野本庁、水上支所、新治支所の3カ所で住民サービスを行っています。

社会基盤

Social infrastructure



道路網の整備



◆平成29年7月に完成した徒渉橋

町の中心を流れる利根川を跨ぐ徒渉橋が開通し生活道路の利便性が向上しました。

まちなみの整備



◆都市計画マスタープラン

合併後の新たな都市計画に関する基本的な方針を定める中で、将来的な市街地像を検討します。

公共交通の利便性



◆公共交通網の充実

山間部としては公共交通の利便性は比較的高く、町民や観光客の移動手段として利用されています。



冬期間の通行の確保



◆冬期間の通行の確保

豪雪でも住民生活への影響を最少限に抑えるために除雪機や消雪施設を整備するなど除雪体制をとっています。

快適な交通網整備のため、毎年度計画的に道路整備を進めています。悪戸矢瀬線や真政悪戸線などの都市計画道路の整備を促進し、安全で円滑に通行できる道路網の形成を推進します。国や県と連携して国道・主要地方道・一般県道の利便性の向上に努めます。

本町には山岳、農村、温泉、史跡等の多種多様な特性を持った地域が存在し、自然や四季を感じられる美しいまちなみや風景が残されています。景観計画区域、景観形成重点地区を設定して進めるほか、「都市計画マスタープラン」を作成し、計画に基づく適正な土地利用を推進し、魅力ある風景と調和のとれたまちなみ整備に努めます。

老朽化した水道施設や水道管の改修時期にきており、耐震化を図りながら計画的な更新や道施設の統合を推進し、水量が豊富な地域に水源を求めすることで、安全な水道水をより安定して供給できる体制づくりを進めます。

We have an annual road improvement and maintenance plans with the goal of creating safe and convenient transportation network. Akuto-Yaze town road and Shinsei-Akuto town road have been upgraded as part of our more convenient urban planning road for safe and smooth traffic. Working closely with national and prefectural governments, we are constantly improving the national, prefectural, and town roads. Minakami consists of areas, each of which has diverse characteristics. They are mountains, farming villages, hot springs, and old ruins, where there still remains rich natural environment and beautiful landscape you can enjoy throughout the four seasons. In addition to designating landscape planning areas and priority landscaping areas, we draw up an "Urban Planning Master Plan" to enable systematic and optimal land usage for balanced and beautiful landscape. The town's old water and sewage systems need refurbishing work. As we install quake-resistant systems, planned upgrade and consolidation is in progress. Our source of water has abundant water volume to supply Minakami citizens clean tap water without disruptions.



町民体育祭



◆地区対抗の競技が行われる町民体育祭
町民相互の交流と健康増進を回り、毎年9月最終日曜日に行われます。

生涯学習の拠点となる公民館やカルチャーセンターの利便性を高めることにより、利用の促進を図っています。社会教育関連団体等と連携しながら、町民の学習ニーズに応じた生涯学習講座を開催したり、学習成果発表の場を設けるなど、生涯学習機会の充実を図っています。

子どもから高齢者まで幅広い年齢層の町民が多様なスポーツに親しめるよう、スポーツ協会やスポーツ推進委員と連携して教室や大会を開催しています。また、各種スポーツ振興団体の活動や選手・指導者の確保・育成を支援しスポーツの活性化を図っています。

心豊かな文化人となるための生涯学習の推進を図るとともに、歴史ある伝統文化や文化財の保存と活用を図ります。住民の文化活動や芸術文化交流を推進し、芸術・文化が盛んなまちにします。

We are improving the convenience of community centers and culture centers, which serve as hubs for lifetime learning, in order to promote usage. With an aim to enhance lifetime learning opportunities, we are working in coordination with social education related organizations, hosting lifetime learning lectures in accordance with the learning needs of the townspeople, and setting up occasions for the announcement of learning achievements, etc.

We are hosting workshops and competitions in coordination with sports associations and sports promotion committees in order to enable a wide spectrum of age groups among the residents, from children up to the elderly, to enjoy a diverse range of sporting activities. We are also aiming to revitalize sporting activities by supporting the various sports promotion bodies and securing/educating players and instructors. Along with the aim of promoting lifetime learning to nurture broad-minded persons of culture, we are also working to preserve and utilize historic traditional culture and cultural assets. Through the promotion of residents' cultural activities and arts & culture exchanges, we will create a town with a thriving arts & culture scene.



Lifelong learning

生涯スポーツの推進



◆生涯学習の推進

月夜野総合公園は人工芝サッカー場、人工芝サッカー場、野球場、ターゲットバードゴルフ場などがまとまった運動公園です。

生涯学習の推進



◆生涯学習フェスティバル みなかみ子ども歌舞伎
生涯学習に関連する気運向上を回り、関連団体の交流を促進しています。

文化財の保護と活用



◆古馬牧の人形浄瑠璃

義太夫節と三味線に合わせて演じる3人使いの人形芝居です。群馬県指定重要無形民俗文化財。



交流連携の強化



◆交流都市との連携事業

友好都市のひとつである中野区は、須川地区に「中野の森」をつくりカーボンオフセット事業を実施しています。



◆Eポート大会

交流連携機会の創出



◆交流都市の物産店に参加

ヨーグルトやおいしいりんごなどの農産物は友好都市のイベントに出店して高い評価を得ています。

友好協定団体との連携



◆藝大ワークショップ

友好協定団体の東京藝術大学によるワークショップ。地域の子どもが参加し藝大生と一緒に芸術に触れる機会を持ちました。

地域間
交流

Interregional
Exchange

産業や教育、文化や防災などさまざまな分野において、定期的な情報交換やイベントへの参加などによる交流を深め、互いの理解を深めることで信頼関係を構築し、連携を強化します。

また、交流を継続するためのフォローアップを充実させるなど、交流連携による効果を高めます。

町外の人や団体のニーズを把握しながら、本町の魅力や水源の町としての役割などの情報を発信するとともに、多彩なフィールドを活用した交流連携機会の創出を図ります。

また、ネットワークを構築したり、交流窓口を充実させ、気軽にアプローチできるようにするなど受入態勢を強化します。

For more strengthened working relationship and to strengthen better mutual understanding and trusting relationship, we facilitate periodical information exchange and participation to events in the field of industry, education, culture, and disaster response. Following up on these activities to sustain these relationships produces better results. Assessing the needs of people and organizations outside Minakami while distributing the information not only on the features of Minakami but also the roles of water source town, we create opportunities for exchange collaboration from various fields. We will strengthen the system to accept visitors with a strong network of interchange contacts for easier access on the part of visitors.





◆議場 ※議会中は撮影禁止のためイメージとなります。

町議会は、18人の町議会議員で構成され、町長が提案する予算・決算、条例案などを審議したり、町政運営が適正に執行されているかを監視する役割があります。町議会では町民を代表する議員が町民の声を反映してより良いまちづくりに努めています。

Minakami Town Council is comprised of 18 members. The council deliberates budget, financial results, town laws, ordinances proposed by the town mayor. It also monitors whether or not the town government is functioning. The town council representatives are open to the voices of Minakami citizens and work very hard for their benefit.

議会

Parliament



◆議会だより

定例会や議会活動発信を議会だよりを使って年4回行っています。編集には利根商業高等学校の生徒が関わり、幅広い年代に読まれるよう創意工夫を凝らしています。



■ 議会の構成



調査研究

◆議会の活動
議案調査などで現地を確認することがあります。



みなかみ町

3つの宣言

Minakami-machi
3 Declarations

Minakami-machi Peace Declaration by Abolishment of Nuclear Weapons (September 6, 2006)

Minakami citizens live close to the source of Tone River, Japan's largest river in terms of basin area. We protect Minakami's mountains, forests, and rivers. Our aim is to create peaceful Minakami where people are rich in humanity and have long lives ahead of them.

Turning to the global scene, however, armed conflicts have become commonplace. Weapons are getting ever more sophisticated. Humans now have nuclear weapons capable of wiping us all from the face of the Earth, a serious threat to the human race.

We hereby declare that Minakami totally abolishes nuclear weapons. May the lasting peace prevail on the earth!

Declaration of Minakami's Power of Water and Environment -The power to safeguard, use, and spread water and forest- (September 19, 2009)

Guardians of Water and Forest - Power of Safeguard

Water wells up deep in the woods of Okutone and the Tanigawa mountain range flows into Minakami, then to Niharu, and merges into the Tone River in Tsukiyono. Tone River plays the key role in nurturing the living creatures of the Kanto Plain. Minakami's water and deep forest contribute greatly to alleviate global warming. Minakami residents wish for long life of all things, appreciate the gift from nature, and protect the mountains, forest, and river. We call them guardians of water and forest.

Master of Water and Forest - Power of Utilization

Water falling from heaven is inside Minakami's great nature, dams, hot springs, and daily life of Minakami citizens. Water is used as their drinking water, food production, and to generate electricity, in tourism resources, etc. to sustain Minakami's economic activities.

Living in the land of water source, we embrace awe and appreciate nature, sustainable workings of nature, memorable landscapes, the skills and wisdom to make the most of the valuable resources to become the "Master of water and forest".

Messenger of Water and Forest - Power of Spread

Water changes its shape and brings blessings as it flows from upstream to downstream. The water and forest of the deep Okutone and Tanigawa mountain range are not exclusive possession of Minakami citizens. Collaboration among people living along the basin and those in the Tokyo metropolitan area is sought. We live in the land of water source here in Minakami, so we communicate the importance of water resources, spread the circle of efforts and become the "messenger of water and forest".

Declaration of Minakami-machi being sports and healthy community -Wear a friendly smile- (December 7, 2011)

We did a brainstorming session about what makes Minakami citizens smile.

What came up include when they are "enjoying hot springs", "eating delicious foods", "having a pleasant sweat after exercise, etc."

Please imagine the many things Minakami can offer its visitors to feel contented and smile. We will do everything we can to make Minakami a town where residents can smile and enjoy healthy, long life.

みなかみ町 核兵器廃絶平和の町宣言

(平成18年9月6日)

日本の大河・利根川の源流に住む私たちは、この山と森林と川を守り、万物が賑々と生存する事を願い、人びとが潤いを感じ平和で人間性豊かなまちづくりを目指して日々努力しています。

しかしながら、地球上では、依然として武力紛争が絶えず、兵器はますます強力化され、更に全ての生命を滅ぼしてしまう核兵器の生存は私たちにとって極めて深刻な脅威となっています。

私たちは、すべての核兵器の速やかな廃絶を求め、真の恒久平和が実現することを願い、ここに「核兵器廃絶平和の町」宣言します。

みなかみ・水・「環境力」宣言

—水と森林を まもる・いかす・ひろめる力—

(平成20年9月19日)

水と森林の防人～まもる力

奥利根・谷川連峰に生を受けた水は、水上、新治を流れ、月夜野で合流し、板東太郎(利根川)となって関東平野に生きる幾多の生命(いのち)を育みます。生命の水を蓄えるこの地には、地球温暖化を防ぐ広大な森林が広がっています。

水源の地に住む私たちは、万物が賑々と生存することを願い、自然の恵みに感謝し、この山と森林と川を守りつづける「水と森林の防人」となります。

水と森林の達人～いかす力

天より授かった水は、大自然の景観、ダム、温泉、日常の暮らしや遊びの風景の中にあります。そして、飲み水や食物はもとより、産業を牽引するエネルギーや観光資源として、みなかみの経済活動を支えています。

水源の地に住む私たちは、自然に対する畏敬と感謝の念を抱き、持続可能な自然の営み、心に残る風景、貴重な資源を活かす技と智慧を身につけた「水と森林の達人」となります。

水と森林の使者～ひろめる力

水はあまねく流れゆき、姿を変えて津々浦々に恵みをもたらします。奥利根・谷川連峰の水と森林は、私たちみなかみ町だけのものではありません。流域に暮らす人々をはじめ、首都圏のみなさんとの協働がもたらされます。

水源の地に住む私たちは、水資源の大切さを伝え、取り組みの輪を広める「水と森林の使者」となります。

みなかみ町スポーツ・健康まちづくり宣言

～笑顔っていいよね～

(平成23年12月7日)

みなさんが笑顔になれることって何かを考えてみました。

ゆったりと温泉につかっているとき。おいしいものに会ったとき。さわやかな汗をかいたとき。

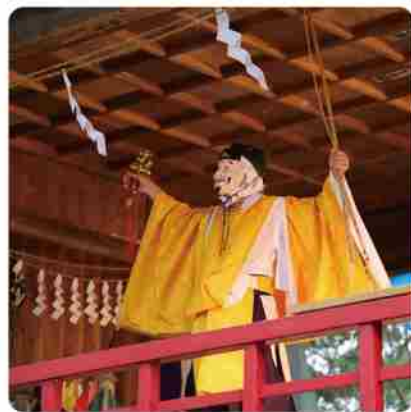
みなさんも想像してみてください。みなかみ町には幸せで笑顔になれる素材がいっぱいあるって思います。みなさんが笑顔で美しく健康でいられる、そんなみなかみ町をつくりたい。



矢瀬親水公園



一之宮の地藏桜



町内各地太々神楽

農村地帯に伝わる太々神楽は、天下泰平、五穀豊穡の祈願のため春と秋の例祭に奉納されます。

遅咲きの桜

南北に長く、気候も地形も起伏に富んだみなかみでは、地域ごとに開花時期がことなるため、1ヶ月以上桜を楽しめます。



茂左衛門地藏尊千日堂

みなかみこよみ

春

March - May

赤谷湖の鯉のぼり

赤谷湖を会場にたくさんの観光イベントが開催されます。春には花見や鯉のぼり、夏は花火大会、秋は紅葉などで楽しめます。周囲には2.5kmの遊歩道が整備されています。



利根川のラフティング

みなかみ町は全国的にも有名な利根川上流のラフティングスポット。都心から日帰りアクセスでき、激流コースを体験することができます。





新緑の谷川岳と山開き

上級者から初心者まで登山を楽しめる谷川岳。7月第1日曜日には山開きが行われ、都心から特別臨時列車が走ります。日本一のモグラ駅と呼ばれるJR土合駅が1年で一番賑わう日です。



湯檜曾公園



デザート藤原湖マラソン

藤原ダム完成を記念して始まり60年以上続いてきた歴史あるマラソン大会。

アウトドアアクティビティ

みなかみ町と言えば、豊かな自然を活かすアクティビティ。日々移り変わる自然を相手に楽しむ体験は毎回新しい発見があるものです。



ならまた湖

おいで祭り

みなかみよみ

夏

June - August

夏まつり

月夜野ホテル鑑賞の夕べ、花火大会、水上温泉おいでまつり、源流まつりなど、暑い夏を楽しむ催しは多数。地域おこしや観光イベントとして、住民と観光客が一緒になって楽しむお祭りです。



月夜野ホテル
観賞の夕べ



赤谷湖上
花火大会



日本一小さい
花火大会



大烏天狗みこし(豊楽まつり)

秋まつり

りんごや米などが収穫される時期に爽やかな秋を迎えられたことに感謝し、ますますの発展と無病息災を願い開かれるお祭りです。豊楽まつりで担ぎだされる漆黒の大烏天狗神輿は地域の有志が自作したものです。



やっさ祭り

みなかみこよみ

秋

September - November



指月会

まちの紅葉

紅葉の見頃は10月上旬から谷川岳天神平から色づきはじり、11月上旬には町中まで南下してきます。諏訪峡や三国峠などの広葉樹帯が広がる場所はたくさんの観光客が訪れます。



秋の田園風景



照葉峡の紅葉



不動滝の氷場



冠雪の谷川岳

冬の谷川岳

冬から春にかけての谷川岳の双耳峰は、雪と氷で輝やき、いっそう神秘的に眺められます。天神平ロープウェイで標高1,320mの天神平スキー場まで行くことができます。



ウインタースポーツ

みなかみ町の中でも南北で積雪量が一变します。北部では8つのスキー場があるように上質で豊富な降雪があります。スキーやスノーボードなどのウインタースポーツは年間47万人が訪れています。近年はスノーシューを使ったトレッキングも気軽に行えるようになり人気が高まっています。



みなかみこよみ

冬

December ~ February

どんど焼き・どんどん焼き

小正月の行事で、松飾りやだるま、しめ縄、書き初めなどを持ち寄り、積み上げて燃やす行事です。地区ごとに規模は違いますが、中には4メートルの高さの櫓を組んで火をつける所もあります。



成人式

みなかみ町出身の新成人を祝う成人式が毎年カルチャーセンターで行われます。



大幽洞窟の氷筥

天井から滴り落ちる水によって形成された氷筥が洞内に広がっており、神秘的な空間を演出しています。





みなかみ町のブランド 「みなかみ珠玉」

The area brand "Minakami Syugoku"

ブランド認証マーク

まちづくりビジョンから始まったブランド認証制度であり、審査を経て登録された商品には、「みなかみ珠玉」の表示がされています。生産者はもちろん、町が自信を持っておすすめする一品です。



水月夜(みなつきよ)

食味値86以上の厳選された「コシヒカリ」。食味値とは「アミノロス」「タンパク質」「水分」「脂肪酸度」の4つの成分を測定しておいさを測る基準です。日本米の平均60を遥かに上回る最優良米です。
【店舗】水月夜生産組合
【住所】みなかみ町新巻632-2
【電話番号】0278-64-0449

みなかみ町がおすすめの一品

みなかみ町の優れた商品を掘り起こし、町民一人ひとりが自信と誇りを持てるみなかみ町ブランドを確立し、広く全国に発信、販路拡大を目指すことによって、みなかみ町のイメージアップと併せて地場産業の振興を図ります。

みなかみの甘酒

昔ながらの麹造り製法の甘酒。砂糖を使わず、米と米麹を発行させて造る甘酒は、やわらかな自然の甘味が特徴です。ノンアルコールなのでお子さんからお年寄りまでお楽しみいただける伝統的な健康飲料です。

【店舗】嘉澤
【住所】みなかみ町大穴814-1
【電話番号】0278-72-3121



地ビール

みなかみ町の水と群馬産の麦芽を原料に醸造した地ビール。夕陽の月夜野ビルスナー、水と緑のエール、ホテルの里の黒ビール、ロマンの里のヴァイツェンの4種の味わいの地ビールです。

【店舗】月夜野クラフトビール
【住所】後関761-1
【電話番号】0278-20-2033



仙ノ倉万太郎

創業50年の歴史ある製菓店が手がけたもちもち食感の新しいおまんじゅう。地域で愛される仙ノ倉山・万太郎山から「せん・まん」という縁起の良い響きを使って命名した郷土のお菓子です。
【店舗】丸須製菓
【住所】みなかみ町湯原1680-4
【電話番号】0278-72-3591



たくみの里塩ヨーグルト

地元産の生乳を使い、日本で初めて商品化した水切り塩ヨーグルト。たくみの里塩ヨーグルトはクリームチーズのような濃厚な味わいがあり、低カロリーでカルシウムの吸収率もよい、万能調味料として注目されています。
【店舗】たくみの里製菓館
【住所】みなかみ町須川847
【電話番号】0278-64-2210



りんご「ぐんま名月」黒秀

収穫量が限られており、幻の黄色いりんごと呼ばれるほど稀少なりんご。他を圧倒する量の多さ、ジュースで甘味が強く、酸味が少ないのが特徴です。収穫時期は11月頃です。



菌床まいたけ「命(みこと)」

肉厚で旨みのある菌床生しいたけは、食卓でおいしく食べてもらうために、出荷時の傘の大きさを6cm以上、開き具合を6分以内と規定しています。また、薬品類は使用していません。

【店舗】高橋しいたけ園
【住所】みなかみ町上津2025
【電話番号】0278-62-6823



まいたけ「すくよか」

生産者がこだわりを大切に育てたまいたけ。自然の成長過程を大切に、利根川源流の水、調理しやすい育成と3つのこだわりで育てたものは、軽い食感でもしっかりとした弾力のあるまいたけになっています。

【店舗】有限会社 鈴木まいたけ園
【住所】みなかみ町阿能川113
【電話番号】0278-72-5335

蕎麦パスタ

蕎麦鑑定士の店主が消費者の健康増進の想いを込め開発した生蕎麦パスタ。蕎麦の風味を感じる麺にパスタ用の和風パスタソースやカルボナーラソースを絡めてお召し上がりいただけます。

【店舗】そば処角弥(かどや)
【住所】みなかみ町幸知189-1
【電話番号】0278-72-2477



はもんみなかみ

銘柄豚くんま豚豚を使い、一本一本手作りで丁寧に仕上げた県下唯一の12ヶ月熟成の本格生ハム。程よい塩味と芳醇な熟成香、そして深い味わいを感じるシンプルで贅沢な長期熟成生ハムです。

【店舗】育風堂精肉店
【住所】みなかみ町大穴814-1
【電話番号】0278-72-3574



源泉うどん

鈴森の湯の源泉「二千万年水」を使って丁寧に練り上げたうどん。強いコシと弾力があり、食べごたえのある源泉うどんです。

【店舗】鈴森商事
【住所】みなかみ町阿能川11009-2
【電話番号】0278-72-4696



みなかみ湧水

みなかみ町の水道水源の約55%は湧水であり、とても柔らかく飲みやすいものばかりです。非売品の天然アルカリ水(みなかみ湧水-三峰山湧水)は、みなかみ町で最も魅力的な湧水として多くの人々に親しまれてきました。

みなかみユネスコエコパークが育んだ清浄でとても柔らかく、適度なミネラルを含んだ良質な水は、大地に恵みをもたらし、おいしい農産物や特産物も数多く生み出しています。

※湧水(ゆうすい)は、地下水が地表に自然に出てきた湧き水のことです。雪解け水が手つかずの山岳地帯や森林堆積層に濾過され、良質な水が谷川岳や三峰山の麓から湧き出して利根川に注ぎ込んでいます。



群馬県ふるさと伝統工芸士



群馬県がふるさと伝統工芸品の製造に従事してしている者のうち、高度の伝統技術・技法を保持する者を「群馬県ふるさと伝統工芸士」として認定しています。本町には上越クリスタル、月夜野桐箆筒、三国指物、上州尺八の指定品の製造をしている方が伝統工芸士として活躍しています。

- 10.1 みなかみ町開町式（月夜野町・水上町・新治村が合併）
 11.21 田園空間整備事業による藤原山口地区に遊山館完成
 【H17～18年豪雪】藤原地区で最深積雪280cmを超え、みなかみ町豪雪対策本部を設置。群馬県が利根沼田豪雪対策本部を水上支所に設置。町豪雪対策本部の要請を受け、県からの災害派遣要請により陸上自衛隊第12旅団50人が本町に派遣



- 4.1 みなかみ町食生活改善推進協議会発足
 4.1 みなかみ町文化協会発足
 4.4 みなかみ町消防団発足式
 4.23 みなかみ町議会議員選挙執行（議員定数23）
 8.20 第1回みなかみ祭り開催
 9.3 第1回みなかみ町民体育祭開催



- 3.25 みなかみ町山岳資料館が湯原地区に開館
 4.1 みなかみ町農業委員会発足
 4.16 みなかみ町観光まちづくり協会設立
 6.3 平標山の家リニューアルオープン



- 3.7 猿ヶ京小学校閉校式開催（明治7年開校、134年の歴史に幕を閉じる）
 3.22 新巻小学校閉校式開催（明治7年開校、134年の歴史に幕を閉じる）
 3.26 須川小学校閉校式開催（明治6年開校、135年の歴史に幕を閉じる）
 4.1 新治小学校開校（猿ヶ京小、新巻小、須川小を統合）
 9.19 みなかみ・水・「環境力」宣言制定
 9.30 みなかみ町子育て支援条例制定
 10.1 利根川源流森林整備隊結団式及び協定調印
 10.1 第17回全国川サミット in 利根川を開催（全国から9市区町村参加）



- 1.20 入学支援金事業開始（町単独事業）
 新治小学校食堂・家庭科棟竣工
 桃野小学校体育館落成
 沼田水上線無散水消雪工事完成【まちづくり交付金事業】
 4.1 みなかみ町民憲章制定
 4.1 認定こども園にいはいこども園開園（にいはい幼稚園、にいはい保育園統合）
 4.8 にいはいこども園内にみなかみ町地域子育て支援センター開設
 4.20 笹笛橋架替工事完成【まちづくり交付金事業】
 4.28 矢瀬蟹杵工業団地、土地開発公社とヤマキ株式会社間で土地売買仮契約締結
 諏訪峡大橋でバンジージャンプ開始
 8.8 茨城県取手市と友好都市協定締結
 10.1 町のうた制定「ふる里みなかみ、心の旅」
 10.1 中学生以下に対するインフルエンザ予防接種費用助成事業開始
 10.25 湯原温泉公園整備工事完成【まちづくり交付金事業】



- 1.12 月夜野総合グラウンドホッケー場人工芝化完成
 3.31 第一保育園と第二保育園が水上保育園へ新設統合のため閉園
 4.1 私立水上わかくりこども園開園（水上保育園と若葉幼稚園を併設）
 4.18 みなかみ町議会議員選挙執行（議員定数18）
 4.29 中国広東省珠海市の聯合国際学院と友好協定締結
 7.20 子宮頸がん予防接種費用助成事業開始（町単独事業）
 1.26 矢瀬蟹杵工業団地のヤマキ株式会社みなかみ工場（第1・2工場）竣工



- 2.1 ヒブ・小児肺炎球菌粗乗接種費用助成事業開始
 2.1 虹の谷の tanigawa ピコ水力発電所完成
 【3.11 東日本大震災】町議会全員協議会で被災者を町内宿泊施設に無償受入を決定（3月16日～7月20日、町内約50施設に被災地から滞在者664人を受け入れ）
 3.15 幸知小学校閉校式（明42年開校、102年の歴史に幕を閉じる）
 4.1 新水上小学校開校（水上小、幸知小を統合）
 4.1 水上中学校新校舎でスタート
 4.1 みなかみ町観光まちづくり協会が一般社団法人みなかみ町観光協会となる
 【東日本大震災】役場職員を被災地支援派遣職員として宮城県女川町に派遣（4月22日～8月26日まで総勢37人）
 7.12 (株) デサントとスポーツを核としたまちづくり「みなかみデサントスポーツタウンプロジェクト」連携発表
 10.1 病後児保育事業開始
 11.1 後閑駅前コインパーキング整備利用開始
 12.7 みなかみ町スポーツ・健康まちづくり宣言制定



水と森と文化の記憶

- 2012
- 4.1 みなかみ町地域包括支援センター設置
 - 6.29 谷川岳エコツーリズム推進全体構想が環境省・国土交通省・農林水産省・文部科学省の認定
 - 8.1 みなかみバスカード販売開始
 - 9.13 東京都中野区と「なかの里まち連携協定」締結
 - 9.28 町道悪戸関口線「関口橋」開通式
 - 10.1 みなかみ町障害者虐待防止センター「プレスト」設置
 - 10.17 日本風景街道に「谷川岳ゆけむり街道」登録証伝達式
 - 10.27 第9回全国草原サミット・シンポジウム in みなかみ開催
 - 12.1 子育て家庭住宅新築補助金事業開始



- 2013
- 3.29 入須川師田線師田工区完成（広域農道全線開通）
 - 7.5 第4回全国源流サミット in 群馬県みなかみ町開催
 - 7.25 新商品「塩ヨーグルト」発表（農村公園公社たくみの里）
 - 9.8 国道17号新三國トンネル整備起工式
 - 10.1 みなかみ町ファミリーサポートセンター開設
 - 12.13 台湾台南市との友好都市協定締結



- 2014
- 2.15 【H26豪雪】14日からの降雪により町災害警戒本部設置（関越道練馬ICまでの上下線不通、国道17号猿ヶ京湯沢間が不通、町内各所で雪崩による不通、上越線・上越新幹線不通、ガソリン等品不足により販売数量規制、食料等も品不足で町備蓄食料を配付、学校・幼保子ども園休校休園措置）
 - 4.3 株式会社伊藤園と災害時協定締結
 - 4.11 東京都中野区と環境交流に係る協定及び観光交流に関する覚書締結
 - 5.31 谷川岳一ノ倉沢道路（国道291号）車輛規制区間に電気バス2台運行開始
 - 8.29 真沢地区ほ場整備工事・農道整備工事完成【プロジェクト支援交付金】大島21号線湯の華々橋長寿命化工事完成
 - 9.29 中山間地域総合整備事業水上中央地区農業用水路整備、ほ場整備、農道整備、農業用集落道整備、生態系保全施設整備完成（平成18年～26年）
 - 10.1 ロタウイルス予防接種費用助成事業開始
 - 11.1 みなかみ町空き家バンク制度スタート
 - 11.17 国道291号湯槍曾橋架替完成
 - 11.26 上毛高原駅前広場コインパーキング整備利用開始



- 2015
- 4.1 利根沼田学校組合立利根商業高等学校の制服リニューアル
 - 4.24 環境省谷川自然保護官事務所を観光センター内に開設
 - 5.25 旧衛生センターゴミ処理施設解体
 - 9.3 学校法人廣池学園麗澤大学と連携協定
 - 10.4 みなかみ町新設10周年記念式典を開催
 - 10.4 みなComing体操（みなかみ体操）発表
 - 12.25 名胡桃城址保存整備竣工式



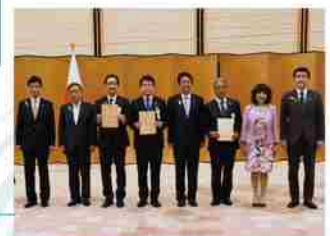
- 2016
- 4.1 私立つきよの認定こども園開園
 - 4.5 利根沼田学校組合立利根商業高等学校に寄宿舎「峻麗館」竣工
 - 4.28 東京都三宅村と友好交流を締結
 - 5.31 みなかみヘルスツーリズム協働プロジェクト協定を締結
 - 6.4 月夜野総合グラウンドサッカー場を竣工
 - 7.30 ウッドスタート宣言（木育推進活動宣言）
 - 8.12 「みなかみユネスコエコパーク」が国内推薦決定
 - 10.1 生ごみの分別回収を開始
 - 10.1 みなかみ町観光協会を母体としたみなかみ版DMOを導入



- 2017
- 2.11 台湾台南市に「交流館みなかみ物語」がオープン
 - 5.6 利根沼田学校組合立利根商業高等学校に多目的グラウンド竣工
 - 6.14 ユネスコ本部にて、みなかみユネスコエコパークが登録決定
 - 8.9 都市計画道路 真政悪戸線 徒渉橋開通
 - 9.29 埼玉県伊奈町との友好都市協定締結



- 2018
- 2.6 東京都中野区と災害時における相互応援に関する協定を締結
 - 3.27 町観光協会、町商工会と大規模災害時における避難所・救援物資の提供に関する協定を締結
 - 4.1 空き家解体補助金制度開始
 - 4.1 運転免許証自主返納支援事業開始
 - 7.2 フルーツ公園桃李館を「みなかみフルーツランド モギトーレ」としてリニューアルオープン
 - 10.1 みなかみ町公共無線LAN運用開始
 - 12.10 オークヴィレッジ株式会社と包括連携協定締結



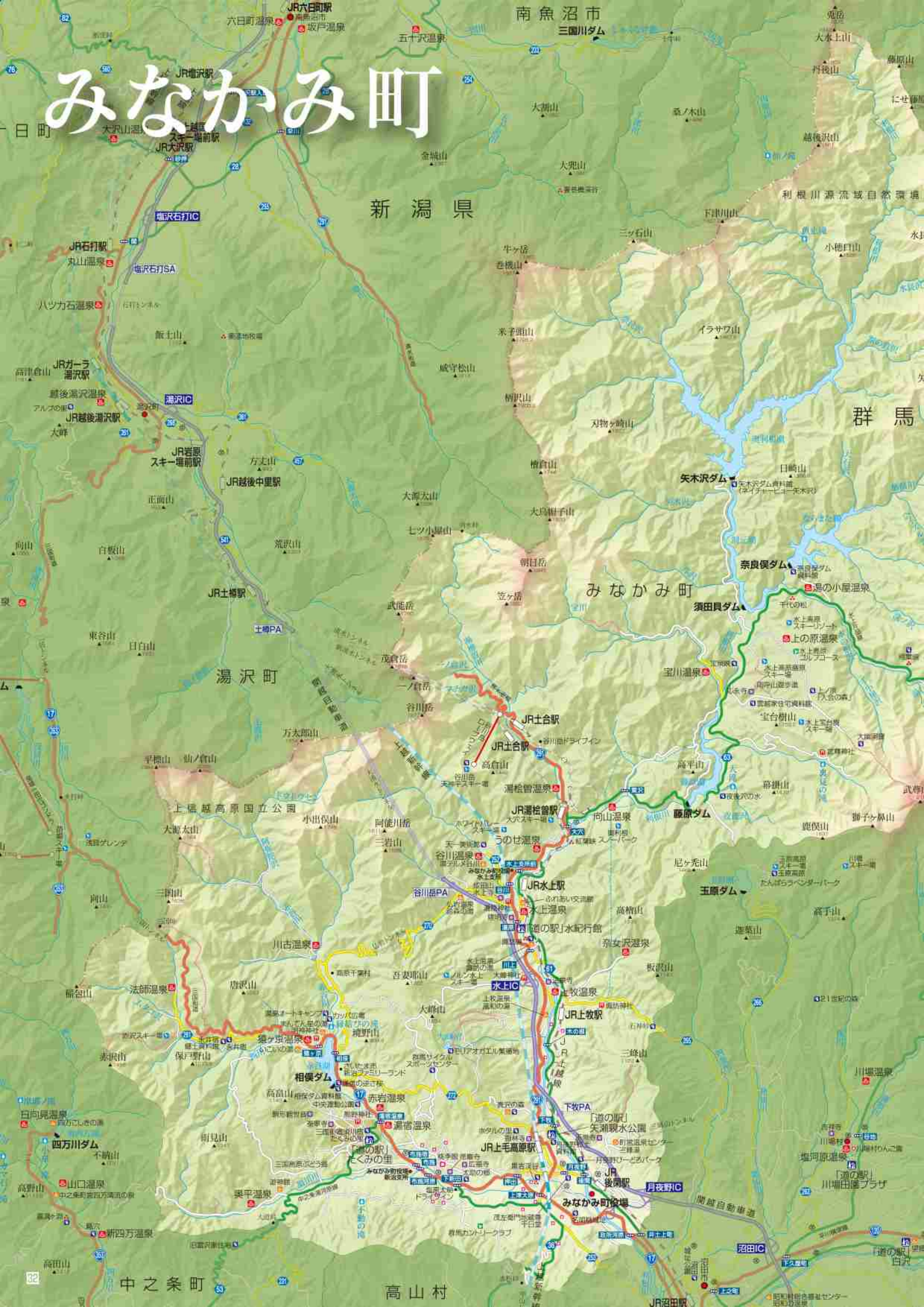
- 2019
- 4.1 大学生等新幹線通学費補助金、新幹線通勤費補助金制度開始
 - 4.1 月夜野多目的広場（旧衛生センター跡地）がオープン
 - 5.1 新ストーブ等購入費補助金制度開始
 - 7.1 みなかみ町がSDGs未来都市に選定
 - 10.1 みなかみ町景観条例施行

みなかみ町

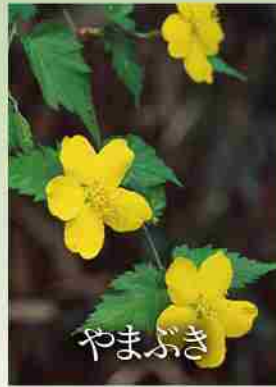
新潟県

群馬

みなかみ町



町の花・町の木・町の鳥



町の歩み

明治22年の町村制施行後、明治41年5月1日、吾妻郡久賀村と利根郡湯ノ原村との新設合併により新治村が誕生しました。昭和22年10月10日に水上村が水上町として町制施行し、昭和30年4月1日には古馬牧村と桃野村が合併して月夜野町が誕生しています。

幾度かの併合と再編等により月夜野町、水上町、新治村となった各地域は、平成の大合併を経て、平成17年10月1日、現在のみなかみ町として誕生しました。

町名の由来

明治・大正・昭和の時代には、近代化とともに物的・人的交流が盛んになり、谷川連峰など美しい自然環境と豊富な温泉資源に恵まれたこの地には、数多くの文人墨客が訪れました。

歌の旅人と称される若山牧水は、自然美と温泉にひかれ、群馬に幾度と足を運びました。大正11年に群馬県を横断した牧水は、名作「みなかみ紀行」を著しました。このみなかみ紀行は、利根川の水源を訪ねるという意味で命名されました。現在のみなかみ町はこの「みなかみ紀行」に由来しています。

発刊にあたって

みなかみ町は利根川の源流に位置し、豊かな自然と、いにしえより培われた歴史・文化があります。そして、町民の皆さまが自ら進んでまちづくりに参画し、自助・互助・共助の志をもって地域の資源を大切に守り暮らしています。このことが世界基準で認められ、平成29年6月に「みなかみユネスコエコパーク (Biosphere Reserve=BR)」に登録されました。

また、令和元年7月1日には、自然と人間社会の共生を目的とする取り組みそのものが、SDGs (持続可能な開発目標)の達成に向けた優れた取り組みであると認められ、「SDGs未来都市」に選定されました。

これからも、町の貴重な資源を「まもり、いかし、ひろめる」ことを推進するとともに、住む人、訪れる人が「幸せ」を実感できるまちづくりを進めていきたいと考えています。

みなかみ町長 鬼頭春二

Foreword

Minakami-machi is situated at the source of Tone River surrounded by rich natural environment. It is also a town of long history and culture cultivated from ancient times. Minakami citizens are actively participating in town development. They embrace the spirit of self-help, complementary interaction, and mutual assistance and collaboration to safeguard regional resources. This effort has been officially recognized when the town was registered as the Minakami Biosphere Reserve (Minakami BR), a UNESCO Eco Park, in June 2017.

On July 1, 2019, Minakami town was also chosen as an "SDGs FutureCity" as our efforts to achieve symbiosis between nature and society were recognized as an excellent initiative to achieve Sustainable Development Goals (SDGs). I would like to continue to promote "safeguard, utilize, spread" the town's valuable resources so that visitors can interchange with local residents and feel happy about it.

Haruji Kito, Town Mayor
Minakami-machi

みなかみ町民憲章

わたしたちは、清らかな利根の源流と
三国・谷川の豊かな自然に恵まれた
いで湯の町に誇りを持ち、
夢と希望に満ちた
活力ある町を築くための道しるべとして、
この町民憲章を制定します。

恵まれた自然と共生し
心ゆたかな町をつくります
歴史と文化を尊び
夢と希望に満ちた町をつくります
おもてなしの心で
笑顔あふれる町をつくります
みんなで力を合わせ
住みよい町をつくります

平成21年4月1日制定

表紙・裏表紙（木目部分）
使用されているイメージは、たくみの
里で作られている「木のほぐし織り」
です。木材の活用を通して環境に優しい
製品づくりを行っています。

みなかみ町勢要覧 2020

- 発行 みなかみ町
- 企画・編集 みなかみ町役場 総合戦略課
群馬県利根郡みなかみ町後閑 318 番地 〒379-1393
Tel. 0278-62-2111 Fax.0278-62-2291
URL <https://www.town.minakami.gunma.jp/>
- 発行日 令和2年3月